

令和7年度 外国語科 授業改善推進プラン

大田区立馬込小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・今年度の大田区学習効果測定では、ほぼ全ての問題において目標値を上回った。挨拶、曜日、天気、日課などについて、必要な情報を聞き取る学習を毎時間行うことで、英語の基礎が身に付いてきている。
- ・音声に十分に慣れ親しんだ後に単語や英文を書く活動を取り入れたり、デジタルコンテンツを利用したりすることで、英文を書く力を高められている。
- ・授業の中でペアトークやスピーチをすることを通して、自分について英語で話せる内容が増えてきている。

(2) 課題

- ・“B”と“V”などの似ている音のアルファベットの聞き分けや、アルファベットの小文字を四線上に正しく書くことが不十分である。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（同一集団の経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第6学年	・目標値を大きく上回っている。		

(2) 令和7年度の結果分析（観点別）

・高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・身近で簡単な語句や対話を聞き、その意味を理解する問題の正答率が高い。 ・アルファベットの読み書きはほとんど目標値に達成しているが、似ている音のアルファベットの聞き取りに少し課題がある。	・日常生活に関する対話を聞き、目的や場面、状況などを推測する問題や、探し物をしている場面の対話、短い物語を聞き話の概要を捉える問題の正答率が高い。 ・例文を参考にしながら、自分のことについて簡単な語句や基本的な表現を用いて英文を書くことができています。	・自分のことを友達や先生に伝える活動では、話す内容を考えて、辞書やタブレットを活用して書いたり話したりしようとする児童が多い。 ・全体でのスピーチでは相手意識を持った声の大きさや速さで話すことにやや課題が見られる。

3 授業改善のポイント（観点別）

・ 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 具体物を示しながら話したり、繰り返し音声を聞いたり、話したりする活動を行ったりすることで、基本的な表現に親しめるようにする。 ・ 歌やチャンツを多用し、文字に親しませる。	・ 自分のことを相手に伝えるための工夫を考えたり、コミュニケーションのポイント（アイコンタクト・笑顔・リアクション等）を用いたりして相手に伝えることを大切に活動ができるようにする。	・ 児童が伝えたいと思うような課題設定をする。 ・ 教師と ALT がモデルを示すことで、児童自身がイメージをもって活動に取り組めるようにする。 ・ 休み時間の英語カフェや給食時に外国語の歌を流すグローバルフライデーを通して外国語に親しむ機会を設ける。

・ 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ チャンツや歌を通して、アルファベットの名前と音の聞き取りに慣れさせる。 ・ アルファベットを書く課題は継続してくりかえし行う。四線を意識させて文字指導を行う。 ・ 英文を書く活動では、児童同士が書き方のポイントをチェックし合う時間を設定する。	・ コミュニケーションのポイント（アイコンタクト・笑顔・リアクション・クリアボイス等）を用いたりして、相手に伝えるための工夫を考えた活動ができるようにする。 ・ イラストや動画など視覚的な教材を掲示しながら英語を聞くことで、英語を推測して聞く力をつけさせる。	・ 児童の実態に合った英語を使う場面を設定し、質問したり答えたりして、友達と会話を続けられるようにする。 ・ ペアワークやグループワークを取り入れて、一人一人が自信をもって発話できる場面を設定する。 ・ 休み時間の英語カフェや給食時に外国語の歌を流すグローバルフライデーを通して授業で学習したことを生かす機会を設ける。